

令和6年度 活動計画

1. 助成事業（環境保全活動）

- 1) 静岡市放任竹林整備事業補助（現物支給）
24年5月1日、放任竹林整備事業用消耗品等支給申請書を環境局環境共生課へ提出。
有度山、川合山の伐採予定計画を示した。これに応じて6月下旬に現物が支給される（10万円相当）。

- 2) 公益財団法人静岡県グリーンバンク補助金
「森づくりグループ活動支援事業」として（25万円）
瀬名地区川合山での竹林伐採、跡地の広葉樹植樹事業。
川合山地籍（川合姥ヶ谷1944、西石出1654番地）
の1000㎡が対象地である。かなりな面積なので、
2年間の計画として取り組む。伐採は10月開始、11月、
12月、1月とし、3月9日（土）植樹予定。

- 3) 三菱UFJ環境財団、苗木寄贈事業
苗木を寄贈いただく助成事業（30万円）。
県有地有度山北麓里山林再生ゾーン域内、谷田地区の竹
林伐採、跡地の広葉樹植樹事業（毎年受領）。

- 4) 公益信託しずぎんふるさと環境保全基金助成（10万円）。
（毎年受領）、三菱UFJ環境財団と合算して広葉樹を購入

する。窓口は三菱 UFJ 信託銀行である。

- 5) ふじのくに未来財団、テーマ指定助成申請（県内における環境保全活動）（60万円）と、財団に残る未収金15万6000円を事業予算とする。

タイトル：「静岡里山の健康な広葉樹の森づくり復元促進事業」と題して、助成申請を行った。県内四力所の活動拠点での年間動員数375人の作業手当費用（75万円）のうち80%を助成金でカバーするという画期的な計画である。

- 6) イオン環境財団：基本テーマ：里山 commons の再生、植樹を含む里山の修復、タイトル：「里山水源の森復元計画事業」助成金認可（107万円）。

清水区西里の里山、貝伏山（標高458メートル）針葉樹伐採跡地に静岡潜在植生の広葉樹8種類800本を鹿防護柵内に山梨県関係者と共に植樹した（24年5月11日）。秋口に下草刈を実施する予定。

地形的に水分が集中する土地なので、広葉樹は旺盛に成長すると思われる。

2. 独自事業

1) 植林地の育林

大平見3ヘクタールの植林地の広葉樹と針広混合林の育林対策として、育林中の樹木の状況を見ながら、適宜下草刈や枝切りを実施し、健康な森づくりを目指す。

2) 樹木学現地講習会

初回は5月18日（土）実施した。参加者は14人、静岡大飯尾准教授の樹木学現地講習会は成功裡に終わった。

次回は秋の紅葉の時期を選んで実施する予定。

森林組合おおいがわ、静岡市森林組合、清水森林組合員等森林関係者を対象に人集めを考えている。

また日本山岳会や労山の会員の参加も考慮する。

3. 来期事業準備として。

- 1) イオン環境財団環境保全活動助成金申請（109万円余）
基本テーマ：里山 commons の再生、植樹を含む里山の修復、
タイトル：「里山の森復元計画事業」として、川根本町の里山“尾呂久保”の尾根筋の針葉樹伐採跡地に鹿防護柵を設置し、川根本町の潜在植生広葉樹を植樹する計画。
公募申請締め切り7月31日。昨年は、セブンイレブン記念財団へ申請したが不採用だった案件である。
植樹放棄地のため、広葉樹を植樹しなければ山が、森が荒れる。このような状況が各地に発生し、集中豪雨に遭遇すれば、山地崩壊が起きる。
地元、森林組合おおいがわと組んで、跡地に地元の潜在植生樹のポット苗と、広葉樹の植林苗を植樹し、森の復元を計る企画である。隣接地は NPO 法人羽ばたきの森が長年広葉樹を植栽していた土地と一体化して、森林公園の観を成す地形にあり、当該伐採跡地側に尾根まで達する車道（作業道）がある。（合成写真1枚）

助成金申請金額内訳（単位円）

① 防護柵材料費：	277,448
② 防護柵設置費：	301,400
③ 苗木代	498,000

④ 保険料	:	6,731
⑤ 旅費交通費	:	7,500
⑥ 消耗品費	:	2,000
総額	:	1,093,079

以上